

令和5年10月10日

鹿児島出張報告書

氏名：森田早紀

所属：名古屋大学・宇宙地球環境研究所/大学院工学研究科 塩川研究室(修士1年)

滞在期間：令和5年9月28日~9月30日

滞在先：鹿児島（垂水・佐多）

私は、2023年9月28日から30日の3日間、鹿児島県の垂水と佐多に滞在し、フラックスゲート磁力計の撤収・新規設置や誘導磁力計のプリアンプ・メインアンプ・ケーブルを再設置した。

はじめに垂水市にある鹿児島観測所の上の台地観測点に訪れ、Z成分が不調であったフラックスゲート磁力計を確認した後、撤収し、交換用の磁力計を再設置した。その際、ケーブルは重機を用いて穴を掘り、埋設したため非常に楽な作業であった。他に、プリアンプ小屋にケーブルを通すために取り込み口に穴をあけたり、磁力計のH,Z成分を調整したりして、動作確認を行った。

その後、佐多観測点に向かい、誘導磁力計が故障していたため、プリアンプ、メインアンプ、ケーブルを再設置した。イノシシに掘り起こされない程度に深くツルハシやスコップを使って穴を掘り、蛇腹パイプを取り付けた後、ケーブルを埋設した。その後、動作確認を行い、動いていることを確認した。

今回の鹿児島出張は、私自身の研究が佐多観測点の全天カメラを用いているので、実際に稼働しているのを目で見ることができ、今後の研究へのモチベーションになった。また、フラックスゲート磁力計や誘導磁力計の設置方法や調整方法だけでなく、作業員の方々に効率の良い設置の仕方など普段の授業では聞くことのできない現場の話を聞くことができた。



図1 鹿児島観測所でフラックスゲート磁力計を設置している図



図2 佐多観測点でケーブルを埋設するための穴掘り作業